

【平成 23 年度・前期学期・ミクロ経済学 I・課題 3】

☆ 提出締め切り：H23 年 6 月 28 日授業開始時

【問 1】 次のような場合に市場にどのような変化がおこるか、需要と供給曲線を用いて均衡価格と均衡数量の変化について図を示しながら述べなさい。

- (A) 米の市場で、米の代替財であるパンの価格が下降した。
- (B) パンの市場で、パンの補完財であるバターの価格が上昇した。
- (C) 消費者の人口が増えた
- (D) 重油を多用する鉄鋼の生産において、原油価格が上昇した。
- (E) 技術革新により、生産コストが下降した。

【問 2】 市場の需要と供給が以下の直線で与えられるときについて答えなさい。必要なグラフは必ず描くこと

$$Q_d = 20 - 2P \quad (\text{需要})$$

$$Q_s = 4P \quad (\text{供給})$$

- (1) 需要と供給直線をグラフに書きなさい。縦軸・横軸の変数を経済学の慣行に従って定めること。
- (2) 均衡点の数量と価格を求めなさい。
- (3) 今、技術革新がおこり、供給関数が $Q_s = -8 + 4P$ へシフトした。この時の均衡点の数量と価格を求めなさい。
- (4) (2) における均衡点を基準として、(2) (3) の二つの均衡点の間の価格弾力性を求めなさい。また、この 2 点間で需要は価格弾力的か非弾力的かユニタリーに弾力的か判定しなさい。